



暮らしの瓦版

2012年7月号



2012年夏 涼しく暮らす(1)



今夏も電力不足が懸念され、節電の夏がやってきます。クーラーに頼らずに、少しの工夫で夏を涼しく過ごすにはどうしたら良いのか? 涼しく暮らすという事をテーマに考えてみましょう。その解決法を見つけるために、まずは人が「暑い」「涼しい」と感じるしくみからお話します。

【暑さを感じるしくみ】人の身体は、常に37度程度を保とうとしています。周辺の温度とは関係なく、体温を37度に保つためには、身体の外に余分な熱を捨てなくてはなりません。温度は高い方から低い方へと流れる性質をもっており、夏の場合は、人の体温と周辺の気温が近づく為、体内の熱を外へ捨てるのが難しくなり、内に熱がこもり、人は「暑い」と感じるのです。その他に、温度の高いものが近くにあると暑さを感じる場合があります。例えば、夏のアスファルトからの「暑さ」を感じる時には、アスファルトという物体が発する熱を身体表面で受け取って、人は「暑い」と感じているのです。

【涼しさを生み出すポイント】人は暑くなる汗をかきます。これは体温の上昇を防ぐ身体メカニズムです。汗は皮膚から気化熱を奪って蒸発するため、人は涼しさを感じます。さらに汗をかいたところへ、風が吹いていればどうでしょう? また木陰が涼しいのは、木の葉からの蒸散によって葉と葉の間の空気の熱が奪われ、周囲の温度が下がるためです。暑さは気温だけで決まるものではなく、放射熱や湿度・風によっても影響されます。涼しさを生み出すポイントは、まさにここに隠されているのです。(蒸散:木は根から水分を吸い上げ、光合成により酸素を作り出します。残った水分は水蒸気にして葉の裏側から放出しますが、液体が気体になる際には熱が必要となります。蒸散は葉のまわりの空気中から熱を奪うため、結果、周囲の温度を下げることに繋がります)

あなたの家の暑さを抑え、もっと涼しく過ごすにはどんな工夫をしたら良いのでしょうか? 2つの実験を通して、そのポイントを探してみましょう。実験1「我が家は何度?」実験2「あなたの家の中に流れる風について調べてみましょう。」具体的な実験は次回お話しします。

季節の風物詩

「土用の丑の日」



土用とは、立春・立夏・立秋・立冬の前18日間を言い、「夏の土用」の間の丑の日を「土用の丑の日」といいます。江戸時代、平賀源内が鰻屋のために、土用の丑の日に「鰻を食べれば長寿、延命になる」として、宣伝したところ大変繁盛して、夏の土用の日に鰻を食べる習慣ができたといわれています。また、万葉集には「石麻呂に我れ物申す夏瘦せよ」といふものぞ鰻捕り唄せ」という大伴家持の歌があります。

生活 季節の行事

「ロンドンオリンピック」開催



第30回夏季オリンピック競技大会がイギリスロンドンを中心に7月27日(8月12日まで)パラリンピックは8月29日(9月9日まで)いよいよ開催されます。ロンドンでのオリンピック開催は史上初の3回目、64年振りの開催です。

実施競技は前回の北京オリンピックから野球とソフトボールが除かれ26競技。オリンピックの中心はロンドンの北東、オリンピック・パーク内。ここにメインスタジアムをはじめとする各種競技場、選手村などが建設されます。ここはかつてのストラトフォード駅に隣接し、鉄道工場や貨物駅、操車場が広がっていたところです。400本の木が植樹され、欧州最大の都市公園となり、オリンピック閉幕後はクイーン・エリザベス・オリンピック・パークとして改称される予定です。大会の競技はこのパーク内をはじめロンドンの各地区で行われますが、テニス、カヌーは市内から1時間程、サッカーはイギリス全土で行われます。しかし、最もアクセスしやすい大会にすることを指し、すべての観客が、公共交通機関、徒歩または自転車で会場に到着できるように計画されています。

オリンピックの基本的コンセプトは「持続可能性」。そしてテーマは「2012年ひとつの地球に向けて」であり、オリンピック大会の準備、開催、レガシー(開催後)に至るまで、地球資源の利用を最小限にすることを目指しています。具体的には、会場の建設にあたっては二酸化炭素の排出量を抑えるのはもちろん、建設された競技場では、エネルギー消費を減らすためにエアコンを使わず自然換気を行い、自然光を取り入れるように設計、屋根に集めた雨水をトイレや場内の水まきに再利用するなど「エコ」を追求しています。また元工業用地の再利用に取り組むことにより、土壤汚染で利用が難しくなっていた地域を再生。世界最大規模の200万トンに及ぶ汚染土壌を現地で浄化しました。オリンピック閉幕後のオリンピックレガシー(遺産)の取り扱いについては、関連施設の長期的な計画・開発・管理・維持を担う公営非営利団体「レガシーカンパニー」を設立するなどかつてない取り組みを行っていることが大きな特徴です。

オリンピックマスコットは、銀色のボディにオレンジのストライプが入った「ウェンロック」と、銀色と青色のボディの「マンデビル」。顔にはカメラのレンズに見立てた大きな目が一つ、額にはロンドンの名物タクシーをイメージしたライトが付いています。五輪スタジアム建設に使われた鉄骨のしずくから作られたという設定で、ウェンロックの名は、近代五輪の概念が生まれたシュロップシャー州の街、マツチウェンロックにちなんでいます。一方マンデビルは、1940年代のパラリンピック発祥の地であるイングランド南部のストーク・マンデビルに由来します。

生活 季節の行事

韓国「麗水国際博覧会」



麗水国際博覧会は、2012年5月12日(8月12日まで)大韓民国全羅南道麗水市で開催されている上海万博に続く国際博覧会(認定博)です。テーマは「生きている海と沿岸:資源の多様性と持続可能な活動」。海洋汚染の深刻化、海洋生態系の破壊、海面の上昇など、海洋に関する問題を鑑み、海と沿岸に関する人類共通の課題への対策を模索するという考えに基づいています。サブテーマは「沿岸開発と保全、新しい資源開発技術、創造的な海洋生活」。気候変動に対応するため国際社会の新しい協力体制を築き、「海洋を守ることが人類の健康と幸せを守ることであり」と伝えようとしています。

マスコットの「ヨニ」と「スニ」は「麗水(ヨス)」の文字を一つずつとって名づけられています。魚の餌となり、海と沿岸を守る生命の根源、海洋生物(プランクトン)をモチーフに、頭部の触角は海洋生物の触角のイメージ、来場客とコミュニケーションするために様々な形に変化します。ヨニのブルーは美しい海の色と深海に存在する無限の資源を、スニのレッドは海と陸地に生息する生き物を表現しています。

会場となっている麗水市は韓国の西南部にある地域(全羅南道)の東南部にある人口約30万人の大都市で、90年代に石油化学団地が建てられ地方都市では知名度の高い都市です。韓国の南海岸はリアス式海岸であるため島々や海の景色が綺麗で、その中でも古くから港町だった麗水は韓国一の美港の町として知られています。また単層木造建築で韓国最大規模の国宝「鎮南館」があります。近くには草家と呼ばれる藁や萱で葺いた民家が残る集落、樂安邑城民俗村もあります。

期間中は唐津から高速船ジェットフォイル「ビートル」号が就航しています。同じアジアからの海洋問題を発信する今回の万博は意義深いものがあります。また近くて遠い国、韓国の文化に触れるチャンスでもあります。

「香港返還15周年」

1842年、阿片戦争に敗れた中国大陸の新王朝は、南京条約に基づき、香港島を英国に永久に割譲することに合意、続いて九龍地区も割譲、さらに新界地区も99年間の無償リースで割譲。これにより中国領であった中国領でない香港の歴史が始まりました。この状況に対し、中国政府は、99年間の条約期限が切れる日を待ち、1984年9月26日、中国と英国の両政府の話し合いがまとまり、1997年の7月1日、香港返還が実現。英国の植民地統治が終わり、香港は155年ぶりに中国へ復帰。「一国家二制度」のもとで、香港は中国の特別行政区として独自の行政機関が選挙で選ばれ、警察権も裁判権も市民サービスも、英国のコモンローに基づき運営、言論の自由も市民運動も保証される今の体制になったのです。

修繕リフォームから新築工事の建物の事
 優良土地活用から物件探し等の土地の事
 北本建設株式会社
 埼玉県北本市古市場3-131 TEL: 048-591-1234
 URL: http://kitaken1970.com FAX: 048-591-0019

01月 暮らしのカレンダー

文月、女郎花月、建申月、親月、七夕月、桐月、七夜月、初秋、文被月、愛逢月、蘭月、涼月	
1日 半夏生	19日 土用・夏土用
4日 アメリカ独立記念日	22日 大暑
16日 海の日	27日 土用の丑の日